

間質性肺病変、皮膚硬化に対しシクロフォスファミド大量静注療法が奏功した全身性強皮症の1例

研究分担者 尹 浩信 熊本大学大学院医学薬学研究部皮膚機能病態学 教授
協力者 牧野貴充 熊本大学大学院医学薬学研究部皮膚機能病態学 助教
協力者 神人正寿 熊本大学大学院医学薬学研究部皮膚機能病態学 講師
協力者 梶原一亨 熊本大学大学院医学薬学研究部皮膚機能病態学
協力者 牧野雄成 熊本大学大学院医学薬学研究部皮膚機能病態学
協力者 本多教稔 熊本大学大学院医学薬学研究部皮膚機能病態学

研究要旨

全身性強皮症に伴う間質性肺病変は進行性で生命予後に関わる病態である。我々はシクロフォスファミド大量静注療法にて間質性肺病変、皮膚硬化が改善した症例を経験したので報告する。47歳、女性。初診の約6か月前よりレイノー症状、手指の腫脹が出現した。約2か月前より、全身倦怠感、労作時呼吸困難が出現し、当科紹介受診となった。上肢、体幹に及ぶ皮膚硬化を認め、皮膚生検にて、全身性強皮症の診断となり、胸部CT、呼吸機能検査にて間質性肺病変を認めた。PSL 20mg/dayに加え、シクロフォスファミド大量静注療法（750-1000mg div/クール、6クール）を施行した。徐々に呼吸器症状と皮膚硬化の改善を認めた。アザチオプリン 100mg/dayにて維持療法を継続している。

A. 研究目的

全身性強皮症は皮膚および肺、腎、消化管、心をはじめとする内臓諸臓器を系統的に侵す慢性疾患である。その病態は膠原線維の増生、血管病変、自己免疫異常の3つが関与するとされ、間質性肺病変や皮膚硬化は膠原線維の増生、線維化が関与している。治療として、これまでに様々な薬剤が用いられてきたが、未だ根治治療となるものは存在しない。強皮症では、間質性肺病変を他の膠原病と比較して高率に合併し^[1]、肺高血圧症を含めた肺病変は強皮症の主な死因となっている^[2]。今回我々はシクロフォスファミド大量静注療法（IVCY）にて間質性肺病変、皮膚硬化が改善した症例を経験したので報告する。

B. 研究方法

症例報告。41歳、女性。

既往歴：高血圧

家族歴：膠原病は認めない

現病歴：初診の約6か月前より、Raynaud症状、手指の腫脹が出現した。約2か月前より労作時の息切れが出現した。当科紹介となり、上肢より体幹へ及ぶ皮膚硬化を認め、皮膚生検にて全身性強皮症の診断となった。

血液検査所見：WBC 8800/ul (Neut 68.7%、Lymph 24.8%、Mono 4.9%、Eosin 1.5%、Baso 0.1%)、Hb 14.2 g/dl、Plt 23.4万/ul、BUN 15.6 mg/dl、Crea 0.54 mg/dl、AST 18 U/l、ALT 11 U/l、LDH 213 U/l、CK 49 U/l、ミオグロビン 54.9 ng/ml、CRP 0.26 mg/dl、IgG 1111 mg/dl、IgA 362 mg/dl、IgM 184 mg/dl、C3c 102.9 mg/dl、

C4 27.3 mg/dl、CH50 41 /ul、KL-6 937 U/ml、SP-D 89.1 ng/ml

抗核抗体 ; fine speckled (+)、nucleolar (+)、chromosome (+)、抗トポイソメラーゼ I (Scl-70) 抗体 74.6 (+)、抗セントロメア抗体 (-)、抗 RNA ポリメラーゼ III 抗体 (-)、抗 U1 RNP 抗体 (-)、RF (-)、抗 ss-DNA 抗体 (-)、抗 ds-DNA 抗体 (-)、抗 SS-A 抗体 (-)、抗 SS-B 抗体 (-)

胸部 CT 検査にて両側下葉の背側を主体に、左側優位にスリガラス影や線状影がみられ、間質性肺病変が疑われた。肺機能検査にて VC 2.02L (77.4%)、FVC 2.09L (80.1%)、TLC 2.83L (71.8%)、DLCO 9.12 (53.1%) と拘束性換気障害を認めた。以上より間質性肺病変と診断した。

患者本人に対し、検体や臨床検査値、患者情報の管理、研究への利用について、十分な説明を行い文書での同意を得た。

C. 研究結果

外来でのプレドニゾロン (PSL) 20 mg/day の内服治療にて皮膚硬化は進行性であり、間質性肺病変による呼吸困難、全身倦怠感も出現した。入院の上、IVCY を行った。なお、入院時の精査にて、上部、下部消化管の内視鏡検査、胸腹骨盤 CT 検査、婦人科的診察、検査を行い、内臓悪性腫瘍は認めなかった。また、心臓超音波検査による推定肺動脈圧は 33mmHg で肺高血圧や心嚢液貯留は認めなかった。尿検査や腎機能検査は正常であった。皮膚所見および血液検査所見より、その他の自己免疫性疾患の合併は否定した。

IVCY は初回 750mg (500 mg/m²) で行い、メスナ、制吐剤を併用した。出血性膀胱炎や骨髄抑制などの副作用を認めず、2 回目以降は 1000 mg (670 mg/m²) へ増量し、4 週間隔で合計 6 回施行した。投与後は

食思不振や全身倦怠感、浮腫を認めたが、いずれも経過観察で改善し、重篤な副作用は認めなかった。

経過は、IVCY 投与 2 回後より呼吸困難や 6 分間歩行検査は改善した。IVCY 投与 6 回後の肺機能検査にて VC 2.16L (82.8%)、FVC 2.03L (77.8%)、TLC 3.16L (80.2%)、DLCO 8.90 (52.8%) と VC、TLC において改善を認めた。また、皮膚硬化は IVCY 投与 1 回後より軽快を認め、比較的速やかに改善した。IVCY6 回終了後よりアザチオプリン 100 mg/day (2 mg/kg) の内服を併用した。IVCY 開始後 8 か月が経過しているが、間質性肺病変、皮膚硬化の再燃は認めていない (図 1)。

D. 考 案

全身性強皮症に合併する間質性肺病変の頻度には人種差があり、25-90% と言われ、約 15% は重症化し生命予後に関わると報告されている^[3]。また濱口らは 203 例の日本人の強皮症患者の臨床症状、自己抗体、死因を検討し、肺線維症の頻度は 44% で、抗トポイソメラーゼ I (Topo I) 抗体陽性患者に有意に多く (84%)、また、死因は 16 例中 6 例で肺線維症と報告している^[4]。

間質性肺病変に対する確立された治療は存在せず、多種の薬剤が使用されてきたが、最も有効性が高いと期待される薬剤はシクロフォスファミド (CYC) である。間質性肺病変に対する CYC 療法についてメタ分析を行った 2 つの統計的レビューがある^[5,6]。Nannini らは、3 つの randomized placebo-controlled trial (RCT) と 8 つの observational study を評価し、12 か月後の FVC と DLCO の両方で統計学的に有意な CYC の効果は認めなかったが、12 か月後の FVC において有効な傾向にあったとしている^[5]。また Poor-moghim らは 3 つの RCT と 14 の observational study を評価し、CYC 群は有意に 12 か月後の FVC の悪化

を予防したとしている。しかし、DLCOでは統計学的な有意差は認めなかった^[6]。またCYCの投与経路、投与量について3つのRCTを比較すると、Taskinらは79例に対しCYC 1-2 mg/dayの連日経口投与を行い、対照にプラセボ群をおいている。Nadashkevicは30例に対し、CYC 2mg/dayの連日経口投与とPSL 15 mg/dayより開始し漸減中止を併用し、対照にはアザチオプリン 2.5 mg/kgの内服、PSL 15 mg/dayの併用、漸減中止を行っている。Hoylesらは22例に対しを4週間毎に6回のCYC 600 mg/m²の静注に加えPSL 20 mg/dayの内服、6か月後よりアザチオプリン 2.5 mg/kgの内服にて維持治療を行い、対照にプラセボ群をおいている。投与経路や投与量、また対照群も統一性がなく、連日経口CYC群と間欠静注CYC群を比較した臨床試験はない。

さらに、TashkinらはCYC 1-2mg/dayの連日経口投与を12か月で終了し、24か月後の評価を行っている。12か月後にはCYC群で%FVC、%TLC、dyspnea index、HAQ-DI、MRSSが有意に改善していたが、24か月後には全ての項目でCYC群とプラセボ群で統計学的な有意差はなくなっていた^[10]。一旦はCYC療法にて間質性肺病変や皮膚硬化が改善しても、効果は一時的で、再燃する可能性があることを示唆している。

E. 結 論

シクロフォスファミド (CYC) の大量静注療法は間質性肺病変のみならず、皮膚硬化に対しても有効であった。しかしながら、投与量や治療回数は過去の報告にても一定せず、今後の症例の蓄積、大規模な前向き研究が望まれている。また、本症例に関しても肺病変や皮膚硬化の再燃に注意し、定期的な評価を継続する必要がある。

F. 文 献

- 1 Minai OA, Dweik RA, Arroliga AC. Manifestations of scleroderma pulmonary disease. *Clin Chest Med* 1998; 19(4): 713-31, viii-ix
- 2 Hesselstrand R, Scheja A, Akesson A. Mortality and causes of death in a Swedish series of systemic sclerosis patients. *Ann Rheum Dis* 1998; 57(11): 682-6.
- 3 White B. Interstitial lung disease in scleroderma. *Rheum Dis Clin North Am* 2003; 29(2): 371-90.
- 4 Hamaguchi Y, Hasegawa M, Fujimoto M, et al. The clinical relevance of serum antinuclear antibodies in Japanese patients with systemic sclerosis. *Br J Dermatol* 2008; 158(3): 487-95.
- 5 Nannini C, West CP, Erwin PJ, Matteson EL. Effects of cyclophosphamide on pulmonary function in patients with scleroderma and interstitial lung disease: a systematic review and meta-analysis of randomized controlled trials and observational prospective cohort studies. *Arthritis Res Ther* 2008; 10(5): R124.
- 6 Poormoghim H, Moradi Lakeh M, Mohammadipour M, Sodagari F, Toofaninjed N. Cyclophosphamide for scleroderma lung disease: a systematic review and meta-analysis. *Rheumatol Int* 2011.
- 7 Tashkin DP, Elashoff R, Clements PJ, et al. Cyclophosphamide versus placebo in scleroderma lung disease. *N Engl J Med* 2006; 354(25): 2655-66.
- 8 Nadashkevich O, Davis P, Fritzler M, Kovalenko W. A randomized unblinded trial of cyclophosphamide versus azathioprine in the treatment of systemic sclerosis. *Clin Rheumatol* 2006; 25(2): 205-12.
- 9 Hoyles RK, Ellis RW, Wellsbury J, et al. A multi-center, prospective, randomized, double-blind, placebo-controlled trial of corticosteroids and intravenous cyclophosphamide followed by oral azathioprine for

the treatment of pulmonary fibrosis in scleroderma. Arthritis Rheum 2006; 54(12): 3962-70.

- 10 Tashkin DP, Elashoff R, Clements PJ, et al. Effects of 1-year treatment with cyclophosphamide on outcomes at 2 years in scleroderma lung disease. Am J Respir Crit Care Med 2007; 176(10): 1026-34.

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

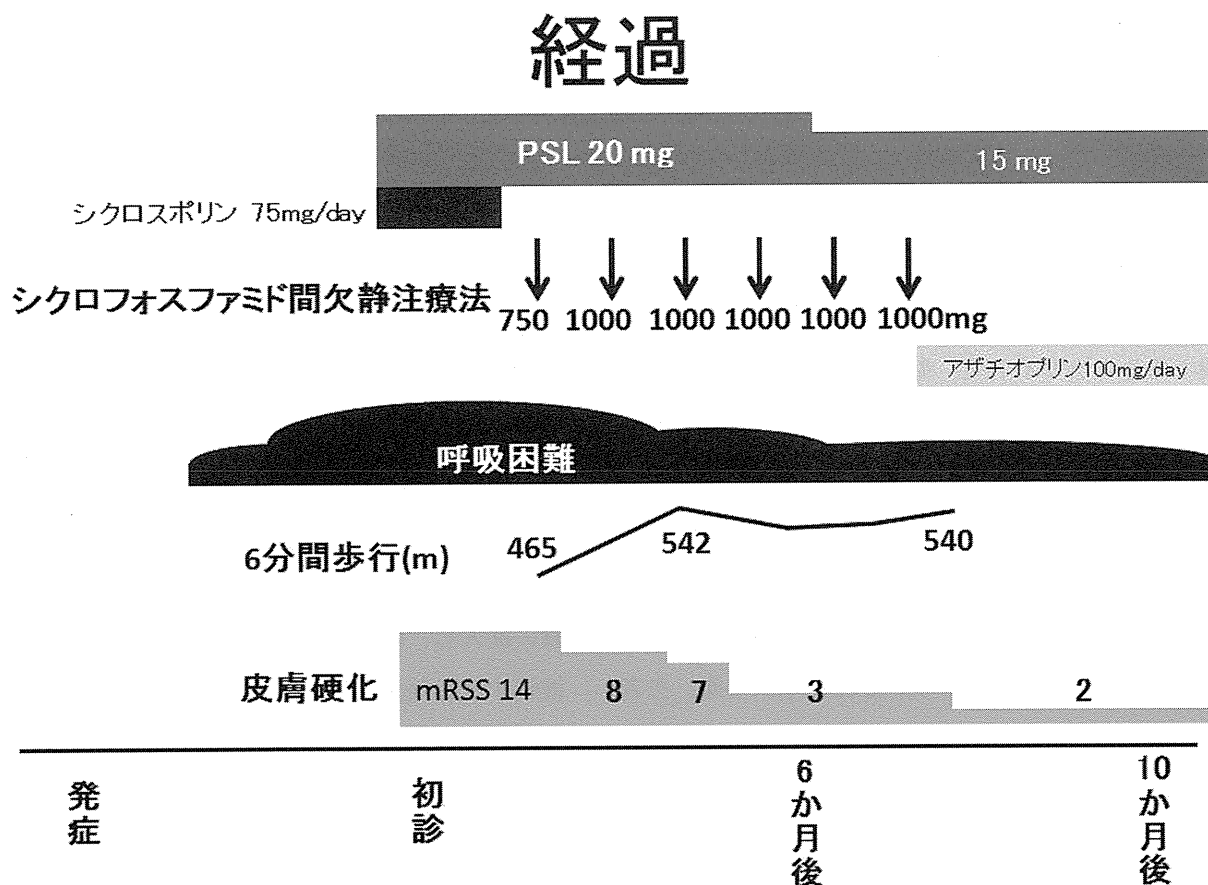


図1:

プレドニゾロン (PSL) 20 mg/day 内服に加え、シクロフォスファミド大量静注療法 (IVCY) を行った。IVCY は初回 750 mg (500 mg/m²)、2-6 回目は 1000 mg (670 mg/m²)、合計 6 回施行した。IVCY6 回終了後よりアザチオプリン 100 mg (2 mg/kg)/day 内服へ変更した。呼吸困難、6 分間歩行検査、皮膚硬化の改善を認めた。

著明な皮膚硬化に対して、複数回の大量免疫グロブリン静注療法 (IVIg) が有効である抗 RNA ポリメラーゼ III 抗体陽性全身性強皮症

研究協力者 小寺雅也 社会保険中京病院 皮膚科 医長
協力者 白田俊和 社会保険中京病院 皮膚科 部長
協力者 関谷徳子 社会保険中京病院 皮膚科
協力者 大城宏治 社会保険中京病院 皮膚科
協力者 岩田洋平 社会保険中京病院 皮膚科
協力者 山岡俊文 社会保険中京病院 皮膚科

研究要旨

52歳女性。初診4年前よりレイノー症状、皮膚硬化が出現。3年前に他院で強皮症と診断、皮膚硬化に対し少量ステロイドやエンドキサンプルス療法施行されるも奏功せず、皮膚硬化が全身に拡大し、平成22年8月、当科初診時のm-TSSは44点と著明高値。ステロイドパルス療法で皮膚硬化は若干改善するも、ステロイドの中等量減量に伴い皮膚硬化は再燃。大量免疫グロブリン静注療法 (IVIg) で皮膚硬化の改善が得られたが、1~2か月で炎症反応とともに皮膚硬化が再燃するため、IVIgを繰り返し施行している。IVIgを複数回施行せざるを得ない症例も存在する。

A. 研究目的

全身性強皮症の著明な皮膚硬化に対して、従来治療であるステロイド薬、免疫抑制剤の不应例に対する大量免疫グロブリン療法の有効性とその施行回数について

B. 研究方法

症例報告。全身性強皮症における著明な皮膚硬化に対して大量免疫グロブリン静注投与する際、患者に対してその利点および危険性に関して十分な説明を行い、同意を得た。

C. 研究結果

症例は52歳、女性

主訴：手指、足の動かしづらさ

既往歴：虫垂炎（20歳時、虫垂切除）

家族歴：特記すべきことなし

職業歴：元麻薬取締官

現病歴：初診の4年前よりレイノー症状、手指の浮腫が増悪した。3年半前に他大学病院で強皮症と診断された。皮膚硬化に対し、エンドキサンプルス療法、少量ステロイド投与などを行われるも皮膚硬化が徐々に進行した。3年前には皮膚硬化は全身の皮膚に拡大し、関節の可動域制限も出現した。治療を継続するも硬化が進行し、関節の可動域制限も高度で、日常生活に支障も生じたため、当科を受診した。初診時、現症として、m-TSS 44点と著明高値、仮面様顔貌、舌小帯短縮、手指屈曲拘縮、爪上皮出血点、指尖部虫食い状瘢痕を認めた。血液生化学所見は、

WBC 7300/ μ l、Hb 10.2 g/dl、Plt 30.2×10^4 / μ l、CRP 1.26 mg/dl、ESR 25/53 mm/h、AST 15 IU/ml、ALT 8 IU/ml、LDH 223 IU/ml、BUN 9 mg/dl、Cre 0.26 mg/dl、

抗核抗体 640 倍以上 Speckled pattern、抗 Scl70 抗体 (-)、抗 RNP 抗体 (-)、抗 SSA 抗体 (-)、抗セントロメア抗体 <5、抗 CCP 抗体 <0.6、抗 RNA Polymerase III 抗体 >150、MPO-ANCA <10 EU、KL-6 261 U/ml、SP-D95 ng/ml、NT-proBNP 411.7 ng/ml であった。内臓合併症の検索では、胸腹部 CT：左下葉にわずかに非活動性間質性肺炎、食道の軽度拡張を認めた。

呼吸機能検査：%VC 84% %DLco55%

心電図：ST 低下 SVPC なし VPC なし

心臓超音波検査：EF 64%、推定右室圧 30 mmHg

心筋 SPECT(BMIPP)：取り込み低下なし

血清レニン活性：6.9 ng/ml/hr

クレアチンクリアランス：126 ml/min

尿検査所見：尿蛋白 0 g/day 尿潜血 (-)

上部消化管内視鏡：慢性胃炎

頭部 MRI：特記すべき異常なし

手指冷水負荷サーモグラフィーでは回復遅延著明であった。以上をまとめると、本症例は、抗 RNA ポリメラーゼ抗体陽性の全身性強皮症であり、Diffuse type で TSS44 点で皮膚硬化が非常に高度であった。抗 RNA ポリメラーゼ抗体陽性例であるが、心合併症や強皮症腎の合併は認めていない。また、皮膚硬化が著明なため、HAQ は、2.9 点と高値であり、日常生活動作が著しく制限され、QOL が低下していた。これまで少量ステロイド内服、エンドキサンプルス療法を施行されていたが、不応性であり、さらなる治療介入を要すると判断した。PSL30 mg 内服再開したところ、炎症反応および m-TSS も改善した。しかし、PSL 減量とともに再燃した。m-PSL1000 mg パルス療法施行し、小康を得るも、やはり後療法の PSL 減量に伴い、再燃した。大量および長期のステロイド薬は抗 RNA Polymerase III 抗体陽性例のため、強皮症腎のリスクが高いと判断し、患者へのインフォー

ムドコンセントの後、IVIg 施行した。IVIg 後は速やかに炎症反応、m-TSS は低下した。その効果は 2ヶ月程度持続し、再燃が見られるため、3 回施行した。3 回終了後、エンドキサンプルス療法を試みるも不応であった。現在 4 回目の IVIg 施行後であり、m-TSS30 点まで減少しており、HAQ2.0 と日常生活制限も改善が見られている。臨床経過を図 1 に示す。

D. 考案

全身性強皮症に対する IVIg 療法の欧米からの報告^[1,2,3,4,5]では、IVIg を複数回行っている報告が多く、本邦からの報告は、単回の施行例であった^[6,7]。本症例では、浮腫性硬化期を越えているものの、皮膚硬化が広範囲で炎症反応もあったため、ステロイド治療の適応と考え、プレドニゾロン 30 mg/日の内服を開始した。初診時、44 点と高値であった m-TSS は 37 点まで減少するも、皮膚硬化は依然として高度であるため、ステロイドパルス療法を行ったが、効果は限定的であった。抗 RNA ポリメラーゼ抗体陽性例で、強皮症腎の合併は認めていないが、ステロイド大量投与はリスクが高く、エンドキサンは無効であった。

IVIg によって皮膚硬化は TSS30 点まで減少し、ADL も改善している。しかし、2ヶ月経過すると皮膚硬化の再燃が見られるため、IVIg を繰り返す必要がある。

E. 結論

全身性強皮症の著明な皮膚硬化に対して、従来治療に不応性である場合、IVIg が有効である可能性があり、さらに複数回施行する必要がある症例も存在する。

F. 文献

1. Bodemer, C. Teillac, D. Le Bourgeois, M. Wechsler, B. de Prost, Y. Efficacy of intravenous immunoglobulins in sclerodermatomyositis. *Br J Dermatol* 123: 545-6: 1990.
2. Levy, Y. Sherer, Y. Langevitz, P. Lorber, M. Rotman, P. Fabrizzi, F. Shoenfeld, Y. Skin score decrease in systemic sclerosis patients treated with intravenous immunoglobulin--a preliminary report. *Clin Rheumatol* 19: 207-11: 2000.
3. Levy, Y. Amital, H. Langevitz, P. Nacci, F. Righi, A. Conforti, L. Generini, S. Matucci Cerinic, M. Shoenfeld, Y. Intravenous immunoglobulin modulates cutaneous involvement and reduces skin fibrosis in systemic sclerosis: an open-label study. *Arthritis Rheum* 50: 1005-7: 2004.
4. Nacci, F. Righi, A. Conforti, M. L. Miniati, I. Fiori, G. Martinovic, D. Melchiorre, D. Sapir, T. Blank, M. Shoenfeld, Y. Pignone, A. M. Cerinic, M. M. Intravenous immunoglobulins improve the function and ameliorate joint involvement in systemic sclerosis: a pilot study. *Ann Rheum Dis* 66: 977-9: 2007.
5. Szekanecz, Z. Aleksza, M. Antal-Szalmás, P. Soltesz, P. Veres, K. Szanto, S. Szabo, Z. Vegvari, A. Szamosi, S. Lakos, G. Sipka, S. Szegedi, G. Varga, J. Szucs, G. Combined plasmapheresis and high-dose intravenous immunoglobulin treatment in systemic sclerosis for 12 months: follow-up of immunopathological and clinical effects. *Clin Rheumatol* 28: 347-50: 2009.
6. Asano, Y. Ihn, H. Asashima, N. Yazawa, N. Mimura, Y. Jinnin, M. Yamane, K. Tamaki, K. A case of diffuse scleroderma successfully treated with high-dose intravenous immune globulin infusion. *Rheumatology (Oxford)* 44: 824-6: 2005.
7. Ihn, H. Mimura, Y. Yazawa, N. Jinnin, M. Asano, Y. Yamane, K. Tamaki, K. High-dose intravenous immunoglobulin infusion as treatment for diffuse scleroderma. *Br J Dermatol* 156: 1058-60: 2007.

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

Clinical course

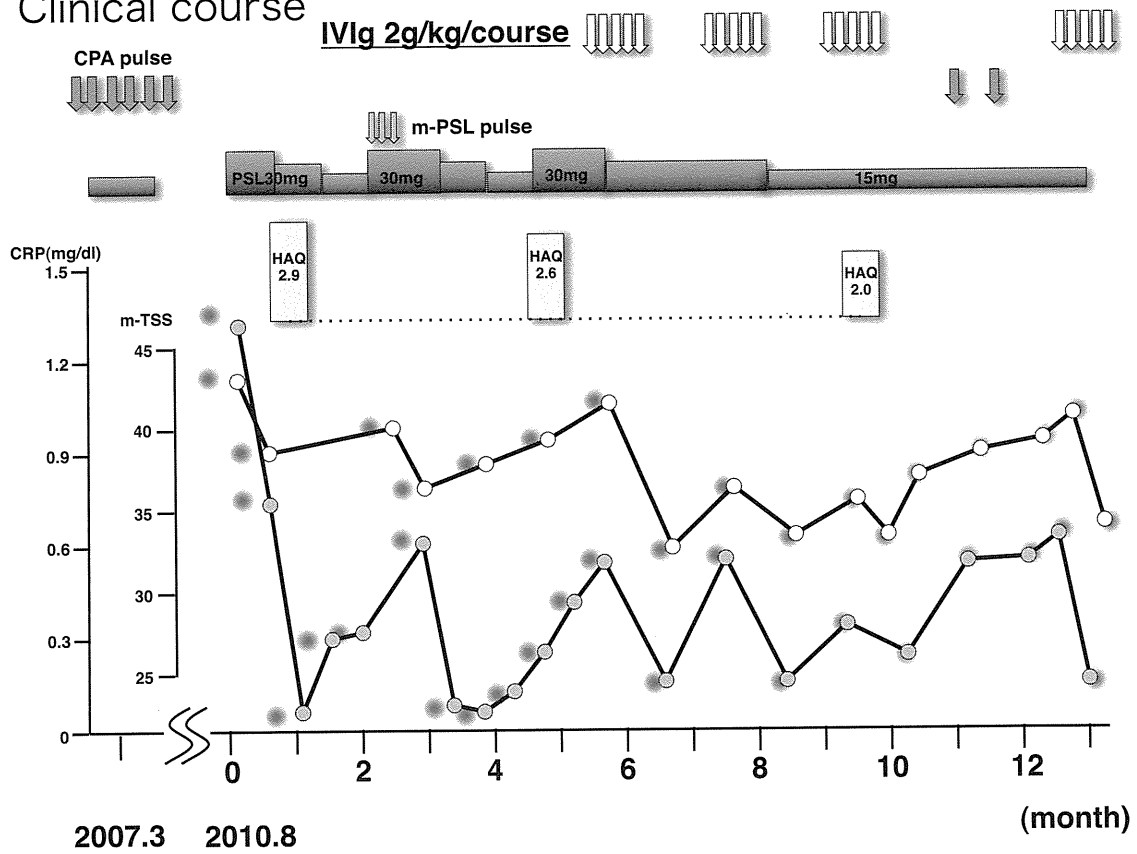


図1：初診時からの臨床経過

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

【書籍】

No.	著者氏名	論文タイトル	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
1	佐藤伸一	強皮症の重症度分類と治療指針	佐藤伸一, 古江増隆 (編)	皮膚科膠原病診療のすべて	中山書店	東京	2011	
2	石川 治	シェーグレン症候群	瀧川雅浩, 渡辺晋一 (編)	皮膚疾患最新の治療 2011-2012	南江堂	東京	2011	99
3	尹 浩信	限局性強皮症の概念・疫学・鑑別診断	古江増隆, 尹 浩信	皮膚科臨床アセット 皮膚科膠原病のすべて	中山書店	東京	2011	176-178
4	尹 浩信	限局性強皮症の病型分類とその臨床症状	古江増隆, 尹 浩信	皮膚科臨床アセット 皮膚科膠原病のすべて	中山書店	東京	2011	179-181
5	尹 浩信	限局性強皮症で行うべき検査、治療と予後・経過	古江増隆, 尹 浩信	皮膚科臨床アセット 皮膚科膠原病のすべて	中山書店	東京	2011	185-187
6	Hirahito Endo	A 34-Year Old Woman with Limited Cutaneous Scleroderma Who Develops Normotensive Renal Failure with Pulmonary Hemorrhage	Silver RM, Denton, CP, Ed (編)	Case Studies in Systemic Sclerosis	Springer	USA	2011	195-212
7	遠藤平仁	強皮症	泉 孝英 (編)	ガイドライン外来診療	日経メディカル開発	東京	2011	468-470
8	遠藤平仁	肺高血圧症、強皮症腎クリーゼなどの血管病変の治療法	佐藤伸一 (編)	皮膚科膠原病診療のすべて	中山書店	東京	2011	150-153
9	後藤大輔	強皮症	「medicina」編集委員会 (編) 松村真司 (編集協力)	内科疾患 インストラクションガイド何をどう説明するか	医学書院	東京	2011	514-517
10	桑名正隆	レイノー症候群	横田千津子, 池田宇一, 大越教夫, 大井一弥, 丸山徹, 高村徳人, 伊藤由紀 (編)	病気と薬パーフェクト BOOK 2011	南山堂	東京	2011	831-832
11	桑名正隆	全身性強皮症	横田千津子, 池田宇一, 大越教夫, 大井一弥, 丸山徹, 高村徳人, 伊藤由紀 (編)	病気と薬パーフェクト BOOK 2011	南山堂	東京	2011	846-849
12	桑名正隆	全身性強皮症の病因 (3): 血管障害, 血管内皮前駆細胞異常	古江増隆, 佐藤伸一 (編)	皮膚科 膠原病診療のすべて	中山書店	東京	2011	118-120
13	桑名正隆	強皮症	門脇孝, 永井良三 (編)	最新内科学	西村書店	東京		印刷中
14	藤本 学	CRST 症候群	井村裕夫総編集	Syndrome Handbook 症候群ハンドブック	中山書店	東京	2011	636-637
15	藤本 学	全身性強皮症の概念と疫学, 病因 (1) 自己免疫	古江増隆総編集	皮膚科臨床アセット7 皮膚科膠原病診療のすべて	中山書店	東京	2011	112-114
16	藤本 学	爪囲紅斑 (皮膚筋炎)	宮地良樹編集	皮膚科+フォトクリニックスシリーズ 皮膚で見つける全身疾患 ~頭のてっぺんからつま先まで~	メディカルレビュー社	東京	2011	124
17	藤本 学	強指症 (強皮症)	宮地良樹編集	皮膚科+フォトクリニックスシリーズ 皮膚で見つける全身疾患 ~頭のてっぺんからつま先まで~	メディカルレビュー社	東京	2011	130
18	山本俊幸	全身性強皮症に伴う全身症状	古江増隆, 佐藤伸一	皮膚科 膠原病診療のすべて	中山書店	東京	2011	128-130
19	山本俊幸	職業性強皮症はどのような化学物質で生じるのか	古江増隆, 佐藤伸一	皮膚科 膠原病診療のすべて	中山書店	東京	2011	200-202
20	小川文秀	皮膚の悪性腫瘍①表皮・毛包系腫瘍 (基底細胞がん, 有棘細胞がん)	窪田誠, 安部正敏 (監修)	骨・筋肉・皮膚イラストレイテッド 病態生理とアセスメント	学研	東京	2011	184-185
21	小川文秀	第11章 皮膚科 第2節「全身性強皮症」	山脇良平企画編集	治療/診断技術のニーズとシーズ評価集	株式会社情報協会	東京	2011	223-234

No.	著者氏名	論文タイトル	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
22	小川文秀	全身性強皮症 治療 34.Raynaud 症状,難治性潰瘍の治療法	古江増隆(総編集) 佐藤伸一(専門編集)	診る・わかる・治す 皮膚科臨床アセット7 皮膚科膠原病診療のすべて	中山書店	東京	2011	141-143
23	小川文秀	全身性強皮症 治療 36.間質性 肺炎の活動性評価と活動性間質 性肺炎の治療法	古江増隆(総編集), 佐藤伸一(専門編集)	診る・わかる・治す 皮膚科臨床アセット7 皮膚科膠原病診療のすべて	中山書店	東京	2011	147-149
24	小川文秀	皮膚筋炎 検査 59.抗アミノア シル t RNA 合成酵素抗体症候群	古江増隆(総編集), 佐藤伸一(専門編集)	診る・わかる・治す 皮膚科臨床アセット7 皮膚科膠原病診療のすべて	中山書店	東京	2011	232-234
25	長谷川稔	仮面様顔貌(全身性強皮症)	宮地良樹編	皮膚科+フォトクリニッ クシリーズ 皮膚で見つ ける全身疾患 ~頭の てっぺんからつま先まで ~	メディカル レビュー社	東京	2011	34
26	長谷川稔	舌小帯短縮(全身性強皮症)	宮地良樹編	皮膚科+フォトクリニッ クシリーズ 皮膚で見つ ける全身疾患 ~頭の てっぺんからつま先まで ~	メディカル レビュー社	東京	2011	55
27	長谷川稔	爪郭部出血点(全身性強皮症, 皮膚筋炎)	宮地良樹編	皮膚科+フォトクリニッ クシリーズ 皮膚で見つ ける全身疾患 ~頭の てっぺんからつま先まで ~	メディカル レビュー社	東京	2011	118
28	長谷川稔	レイノー現象(全身性強皮症)	宮地良樹編	皮膚科+フォトクリニッ クシリーズ 皮膚で見つ ける全身疾患 ~頭の てっぺんからつま先まで ~	メディカル レビュー社	東京	2011	128
29	長谷川稔	膠原病のかゆみと治療	宮地良樹編	臨床医必携 - 全身とか ゆみ	診断と治療社	東京	2011	158-161
30	長谷川稔	血行障害性疾患とその病態	古江増隆総集編	皮膚科臨床アセット15 皮 膚の血管炎・血行障害	中山書店	東京	2011	166-171
31	長谷川稔	血行障害を示す皮膚症状とは	古江増隆総集編	皮膚科臨床アセット15 皮 膚の血管炎・血行障害	中山書店	東京	2011	172-177
32	長谷川稔	抗核抗体の読み方	古江増隆総集編	皮膚科臨床アセット7「皮 膚科膠原病診療のすべて	中山書店	東京	2011	27
33	土屋尚之	全身性強皮症の疾患感受性遺伝 子にはどのようなものがあるか	古江増隆, 佐藤伸一(編)	皮膚科臨床アセット7「皮 膚科膠原病のすべて」	中山書店	東京	2011	161-165
34	土屋尚之	全身性エリテマトーデスの疾患 感受性遺伝子にはどのようなも のがあるか	古江増隆, 佐藤伸一(編)	皮膚科臨床アセット7「皮 膚科膠原病のすべて」	中山書店	東京	2011	63-67
35	麦井直樹	リハビリテーション, 生活指導	佐藤伸一	皮膚科 膠原病診療のす べて	中山書店	東京	2011	154-157
36	麦井直樹	難治性疾患に克つために	生田宗博	I・ADL- 作業療法の戦略・ 戦術・技術	三輪書店	東京	2012	242-248

【雑誌】

No.	発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
1	Sugaya M, Kuwano Y, Suga H, Miyagaki T, Ohmatsu H, Kadono T, Okochi H, Blauvelt A, Tamaki K, <u>Sato S</u>	Lymphatic dysfunction impairs antigen-specific immunization, but augments tissue swelling following contact with allergens.	J Invest Dermatol		in press	
2	Taniguchi T, Asano Y, Hatano M, Tamaki Z, Tomita M, Kawashima T, Miyazaki M, Sumida H, Akamata K, Takahashi T, Ichimura Y, Toyama T, Sugita M, Noda S, Yao A, Kinugawa K, <u>Sato S</u>	Effects of bosentan on non-digital ulcers in patients with systemic sclerosis	Br J Dermatol		in press	
3	Yanaba K, Yoshizaki A, Asano Y, Kadono T, <u>Sato S</u>	Serum interleukin-9 levels are increased in patients with systemic sclerosis: association with lower frequency and severity of pulmonary fibrosis	J Rheumatol		in press	
4	Suga H, Sugaya M, Miyagaki T, Ohmatsu H, Fujita H, Asano Y, Tada Y, Kadono T, <u>Sato S</u>	Differential patterns of CXCR3, CCR3, and CCR10 expression in mycosis fungoides, Sezary syndrome and CD30+ lymphoproliferative disorders: immunohistochemical study of 43 samples	J Dermatol Sci		in press	
5	Kagami S, Kai H, Kakinuma T, Miyagaki T, Kamata M, Sugaya M, Tamaki T, <u>Sato S</u>	High levels of CCL26 in blister fluid and sera of patients with bullous pemphigoid.	J Invest Dermatol		in press	
6	Takahashi T, Asano Y, Ichimura Y, Taniguchi T, Kogure A, Tamaki Z, Takekoshi T, Sugaya M, <u>Sato S</u>	A case of taxane-induced scleroderma: a different expression profile of Flil1 proteins in dermal fibroblasts and microvascular endothelial cells compared with systemic sclerosis.	Br J Dermatol	164(6)	1393-1395	
7	Sugaya M, Fujita H, Izutsu K, Oshima K, Takazawa Y, Ohmatsu H, Yoshimi A, Takahashi T, Kanda Y, Kurokawa M, Tamaki K, <u>Sato S</u>	Primary cutaneous anaplastic large cell lymphoma with leg involvement: a case report and review of 11 cases.	J Dermatol		in press	
8	Noda S, Asano Y, Aozasa N, Akamata K, Yamada D, Masui Y, Tamaki Z, Kadono T, <u>Sato S</u>	Serum Tie2 levels: clinical association with microangiopathies in patients with systemic sclerosis.	J Eur Acad Dermatol Venereol	91(6)	718-720	2011
9	Morimura S, Sugaya M, Kai H, Kato T, Miyagaki T, Ohmatsu H, Kagami S, Asano Y, Mitsui H, Tada Y, Kadono T, <u>Sato S</u>	High levels of LIGHT and low levels of soluble HVEM in sera of patients with atopic dermatitis.	Clin Exp Dermatol		in press	
10	Kanda K, Hau CS, Tada Y, Tatsuta A, <u>Sato S</u> , Watanabe S	Visfatin enhances CXCL8, CXCL10, and CCL20 production in human keratinocytes.	Endocrinology	152(8)	3155-3164	2011
11	Suga H, Asano Y, Tamaki Z, Yamamoto M, Sugaya M, Shimizu J, <u>Sato S</u>	A case of systemic sclerosis with sarcoidosis.	Acta Derm Venereol		in press	
12	Hau C, Tada Y, Shibata S, Uratsuji H, Asano Y, Sugaya M, Kadono T, Kanda N, Watanabe S, Tamaki K, <u>Sato S</u>	High calcium, ATP and poly(I:C) augment the immune response to β -glucan in normal human epidermal keratinocytes.	J Invest Dermatol	131(11)	2255-2262	2011
13	Masui Y, Asano Y, Shibata S, Noda S, Aozasa N, Akamata K, Yamada D, Tamaki Z, Tada Y, Sugaya M, <u>Sato S</u> , Kadono T	Serum adiponectin levels inversely correlate with the activity of progressive skin sclerosis in patients with diffuse cutaneous systemic sclerosis.	J Eur Acad Dermatol Venereol	30(6)	825-830	2011
14	Yoshizaki A, Yanaba K, Ogawa A, Iwata Y, Ogawa F, Takenaka M, Shimizu K, Asano Y, Kadono T, <u>Sato S</u>	The specific free radical scavenger edaravone suppresses fibrosis in tight-skin and bleomycin-induced mouse models of systemic sclerosis.	Arthritis Rheum	63(10)	3086-3097	2011
15	Yoshizaki A, Yanaba K, Ogawa A, Asano Y, Kadono T, <u>Sato S</u>	Immunization with DNA topoisomerase I and complete Freund's adjuvant induces skin and lung fibrosis and autoimmunity via interleukin-6 signaling.	Arthritis Rheum	63(11)	3575-3585	2011
16	Tomita M, Kaodono T, Yazawa N, Kawashima T, Tamaki Z, Ashida R, Ohmatsu H, Asano Y, Sugaya M, Kubo M, Ihn H, Tamaki K, <u>Sato S</u>	Serum levels of soluble CD21 in patients with systemic sclerosis.	Rheumatol Int		in press	
17	Muroi E, Hara T, Yanaba K, Ogawa F, Yoshizaki A, Takenaka M, Shimizu K, <u>Sato S</u>	A portable dermatoscope for easy, rapid examination of periungual nailfold capillary changes in patients with systemic sclerosis.	Rheumatol Int	31(12)	1601-1606	2011
18	Ogawa F, Shimizu K, Muroi E, Hara T, <u>Sato S</u>	Increasing levels of serum antioxidant status, total antioxidant power, in systemic sclerosis.	Clin Rheumatol	30(7)	921-925	2011

No.	発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
19	Miyagaki T, Sugaya M, Okochi H, Asano Y, Tada Y, Kadono T, Blauvelt A, Tamaki K, <u>Sato S</u>	Blocking MAPK signaling down-regulates CCL21 in lymphatic endothelial cells and impairs contact hypersensitivity responses.	J Invest Dermatol	131(9)	1927-1935	2011
20	Miyagaki T, Asano Y, Shibata S, Ohno Y, Tsunemi Y, Saeki H, Tamaki K, <u>Sato S</u>	The development of Th1-mediated sarcoidosis improves the clinical course of Th2-mediated atopic dermatitis.	Mod Rheumatol	21(4)	406-9	2011
21	Miyagaki T, Sugaya M, Yokobayashi H, Kato T, Ohmatsu H, Fujita H, Saeki H, Kikuchi Y, Tamaki T, <u>Sato S</u>	High levels of s oluble ST2 and low levels of IL-33 in s era of ptients with HIV infection.	J Invest Dermatol	131(3)	794-6	2011
22	Noda S, Asano Y, Masuda S, Miyagawa T, Sugita M, Yamamoto M, Kogure A, Tamaki Z, Mitsui H, Hoashi T, Sugaya M, <u>Sato S</u>	Bosentan: a novel therapy for leg ulcerations in Werner' s syndrome.	J Am Acad Dermatol	65(2)	e54-55	2011
23	Kato T, Saeki H, Tsunemi Y, Shibata S, Tamaki K, <u>Sato S</u>	TARC/CCL17 accelerates wound healing by enhancing fibroblast migration.	Exp Dermatol	20(8)	669-674	2011
24	Aozasa N, Asano Y, Ashida R, Tamaki Z, Yamamoto, Tomita M, Kawashima T, Sugaya M, Tamaki K, <u>Sato S</u>	Systemic sclerosis with an unusual rapid development of huge calcinosis (tumoral calcinosis).	J Dermatol	38(3)	836-838	2011
25	Shibata S, Tada Y, Hau C, Tatsuta A, Yamamoto M, Kamata M, Karakawa M, Asano Y, Mitsui H, Sugaya M, Kadono T, Saeki H, Kanda N, <u>Sato S</u>	Adiponectin as an anti-inflammatory factor in the pathogenesis of psoriasis: induction of elevated serum adiponectin levels following therapy.	Br J Dermatol	164(3)	667-670	2011
26	Kanda N, Kamata M, Tada Y, Ishikawa T, <u>Sato S</u> , Watanabe S	Human β -defensin-2 enhances IFN- γ and IL-10 production and suppresses IL-17 production in T cells.	J Leukoc Biol	89(6)	935-944	2011
27	Kamata M, Tada Y, Uratsuji H, Kawashima T, Asano Y, Sugaya M, Kadono T, Tamaki K, <u>Sato S</u>	Semaphorin 7A on keratinocytes induces Interleukin-8 production by monocytes.	J Dermatol Sci	62(3)	176-82	2011
28	Kai H, Kadono T, Kakinuma T, Tomita M, Ohmatsu H, Asano Y, Tada Y, Sugaya M, <u>Sato S</u>	CCR10 and CL27 are overexpressed in cutaneous squamous cell carcinoma.	Pathol Res Pract	207(1)	43-48	2011
29	Yanaba K, Yoshizaki A, Asano Y, Kadono T, <u>Sato S</u>	Serum IL-33 levels are raised in patients with systemic sclerosis: association with extent of skin sclerosis and severity of pulmonary fibrosis.	Clin Rheumatol	30(6)	825-830	2011
30	Asano Y, Ihn H, Jinnin M, Tamaki K, <u>Sato S</u>	Altered dynamics of TGF- β receptors in scleroderma fibroblasts.	Arthritis Rheum	70(2)	384-387	2011
31	Yanaba K, Yoshizaki A, Asano Y, Kadono T, Tedder TF, <u>Sato S</u>	IL-10-Producing regulatory B10 cells inhibit intestinal injury in a mouse model.	Am J Pathol	178(2)	735-743	2011
32	Hasegawa M, Fujimoto M, Matsushita T, Hamaguchi Y, Takehara K, <u>Sato S</u>	Serum chemokine and cytokine levels as indicators of disease activity in patients with systemic sclerosis.	Clin Rheumatol	30(2)	231-237	2011
33	Hasegawa M, Fujimoto M, Hamaguchi Y, Matsushita T, Inoue K, <u>Sato S</u> , Takehara K	Use of serum clara cell 16-kDa (CC16) levels as a potential indicator of active pulmonary fibrosis in systemic sclerosis.	J Rheumatol	38(5)	877-884	2011
34	Hamaguchi Y, Kuwana M, Hoshino K, Hasegawa M, Kaji K, Matsushita M, Komura K, Nakamura M, Koderia M, Suga N, Higashi A, Ogusu K, Tsutsui K, Furusaki A, Tanabe H, Sasaoka S, Muro Y, Yosikawa M, Ishiguro N, Ayano M, Muroi E, Fujikawa K, Umeda Y, Kawase M, Mabuchi E, Asano Y, Sodemoto K, Seishima M, Yamada H, <u>Sato S</u> , Takehara K, Fujimoto M	Clinical Correlations With Dermatomyositis-Specific Autoantibodies in Adult Japanese Patients With Dermatomyositis : a Multi-centre, Cross-sectional Study.	Arch Dermatol	147(4)	391-398	2011
35	Noda S, Asano Y, Tamaki Z, Takekoshi T, Ichimura Y, Takahashi T, Sonoda K, Sugaya M, <u>Sato S</u>	Unusual skin involvements in eosinophilic fasciitis.	Clin Exp Dermatol	36(3)	310-311	2011
36	Takahashi T, Asano Y, Amiya E, Hatano M, Tamaki Z, Ozeki A, Watanabe A, Kawarasaki S, Nakao T, Taniguchi T, Ichimura Y, Toyama T, Watanabe M, Hirata Y, Nagai R, <u>Sato S</u>	Improvement of endothelial function in parallel with the amelioration of dry cough and dyspnea due to interstitial pneumonia by intravenous cyclophosphamide pulse therapy in patients with systemic sclerosis: a preliminary report of 2 cases.	Mod Rheumatol.		in press	2011

No.	発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
37	Taniguchi T, Asano Y, Akamata K, Noda S, Masui Y, Yamada D, Takahashi T, Ichimura Y, Toyama T, Tamaki Z, Tada Y, Sugaya M, Kadono T, <u>Sato S</u>	Serum levels of galectin-3: possible association with fibrosis, aberrant angiogenesis, and immune activation in patients with systemic sclerosis.	J Rheumatol.		in press	2011
38	Aozasa N, Asano Y, Akamata K, Noda S, Masui Y, Yamada D, Tamaki Z, Tada Y, Sugaya M, Kadono T, <u>Sato S</u>	Serum apelin levels: clinical association with vascular involvements in patients with systemic sclerosis.	J Eur Acad Dermatol Venereol.		in press	2011
39	Yanaba K, Asano Y, Tada Y, Sugaya M, Kadono T, <u>Sato S</u>	Clinical significance of serum growth differentiation factor-15 levels in systemic sclerosis: association with disease severity.	Mod Rheumatol.		in press	2011
40	Toyama T, Asano Y, Takahashi T, Aozasa N, Akamata K, Noda S, Taniguchi T, Ichimura Y, Sumida H, Tamaki Z, Masui Y, Tada Y, Sugaya M, <u>Sato S</u> , Kadono T	Clinical significance of serum retinol binding protein-4 levels in patients with systemic sclerosis.	J Eur Acad Dermatol Venereol.		in press	2011
41	Yanaba K, Asano Y, Tada Y, Sugaya M, Kadono T, <u>Sato S</u>	Clinical significance of circulating platelet-activating factor acetylhydrolase levels in systemic sclerosis.	Arch Dermatol Res.		in press	2011
42	吉崎麻子, 吉崎 歩, 室井栄治, 小川文秀, <u>佐藤伸一</u>	抗 RNA ポリメラーゼ抗体陽性全身性強皮症に伴った指端壊疽の 1 例	西日本皮膚科	73(3)	221-224	2011
43	富田 元, 原 肇秀, 岩田洋平, 岩田貴子, 小川文秀, <u>佐藤伸一</u>	外陰部硬化性萎縮性苔癬を発生母地とした有棘細胞癌の 1 例	皮膚科の臨床	53(3)	509-511	2011
44	浅野善英, <u>佐藤伸一</u>	【膠原病の実地診療 プライマリケアと難治性病態の克服】治療/実地医家のための最新の治療 強皮症に対する治療の実際	Medical Practice	28	1257-1262	2011
45	浅野善英, <u>佐藤伸一</u>	ワルファリンの抗石灰化作用	日本医事新報	4531	94-95	2011
46	Asano Y, Ihn H, Jinnin M, Tamaki K, <u>Sato S</u>	Altered dynamics of TGF- β receptors in scleroderma fibroblasts.	Ann Rheum Dis.	70	384-347	2011
47	Hamaguchi Y, Kuwana M, Hoshino K, Hasegawa M, Kenzo Kaji K, Takashi Matsushita T, Komura K, Nakamura M, Koderia M, Suga N, Akira Higashi A, Ogusu K, Tsutusi K, Furusaki A, Tanabe H, Sasaoka S, Muro Y, Yoshikawa M, Ishiguro N, Ayano M, Muroi E, Fujikawa K, Umeda Y, Kawase M, Mabuchi E, <u>Asano Y</u> , Sodemoto K, Seishima M, Yamada H, Sato S, Takehara K, Fujimoto M	Clinical Correlations with Dermatomyositis (DM)-specific Autoantibodies in Adult Japanese Patients with DM: a Multi-centre, Cross-sectional Study.	Arch Dermatol.	147(4)	391-8	2011
48	Bujor AM, <u>Asano Y</u> , Haines P, Lafyatis R, Trojanowska M	The c-abl tyrosine kinase controls PKC-d induced Fli1 phosphorylation in human dermal fibroblasts.	Arthritis Rheum.	63(6)	1729-37	2011
49	Yanaba K, Yoshizaki A, Muroi E, Ogawa F, <u>Asano Y</u> , Kadono T, Sato S	Serum CCL23 levels are increased in patients with systemic sclerosis.	Arch Dermatol Res	303(1)	29-34	2011
50	Yanaba K, Yoshizaki A, <u>Asano Y</u> , Kadono T, Sato S	Serum IL-33 levels are raised in patients with systemic sclerosis: association with extent of skin sclerosis and severity of pulmonary fibrosis.	Clin Rheumatol.	30(6)	825-30	2011
51	Aozasa N, <u>Asano Y</u> , Ashida R, Tamaki Z, Yamamoto, Tomita M, Kawashima T, Sugaya M, Tamaki K, Sato S	Systemic sclerosis with an unusual rapid development of huge calcinosis (tumoral calcinosis)	J Dermatol.	38(8)	836-838	2011
52	Masui Y, <u>Asano Y</u> , Shibata S, Noda S, Aozasa N, Akamata K, Yamada D, Tamaki Z, Tada Y, Sugaya M, Sato S, Kadono T	Serum adiponectin levels inversely correlate with the activity of progressive skin sclerosis in patients with diffuse cutaneous systemic sclerosis.	J Eur Acad Dermatol Venereol.		in press	2011
53	Ichimura Y, <u>Asano Y</u> , Hatano M, Tamaki Z, Takekoshi T, Kogure A, Tomita M, Kawashima T, Miyazaki M, Taniguchi T, Takahashi T, Mitsui H, Sugaya M, Yao A, Kinugawa K, Sato S	Significant attenuation of macrovascular involvements by bosentan in a case of diffuse cutaneous systemic sclerosis with multiple digital ulcers and gangrene.	Mod Rheumatol.	21(5)	548-52	2011
54	Suga H, <u>Asano Y</u> , Tamaki Z, Yamamoto M, Sugaya M, Shimizu J, Sato S	A case of systemic sclerosis with sarcoidosis.	Acta Derm Venereol.	91(6)	718-20	2011
55	Noda S, <u>Asano Y</u> , Aozasa N, Akamata K, Yamada D, Masui Y, Tamaki Z, Kadono T, Sato S	Serum Tie2 levels: clinical association with microangiopathies in patients with systemic sclerosis.	J Eur Acad Dermatol Venereol.	25	1476-9	2011

No.	発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
56	Takahashi T, <u>Asano Y</u> , Ichimura Y, Taniguchi T, Kogure A, Tamaki Z, Takekoshi T, Sugaya M, Sato S	A case of taxane-induced scleroderma: a different expression profile of Flil1 proteins in dermal fibroblasts and microvascular endothelial cells compared with systemic sclerosis.	Br J Dermatol.	164(6)	1393-1395	2011
57	Tamaki Z, <u>Asano Y</u> , Hatano M, Yao A, Kawashima T, Tomita M, Kinugawa K, Nagai R, Sato S	Efficacy of low dose imatinib mesylate for cutaneous involvements in systemic sclerosis - a preliminary report of three cases.	Mod Rheumatol.		in press	2011
58	Tomita M, Kadono T, Yazawa N, Kawashima T, Tamaki Z, Ashida R, Ohmatsu H, <u>Asano Y</u> , Sugaya M, Kubo M, Ihn H, Tamaki K, Sato S	Serum levels of soluble CD21 in patients with systemic sclerosis.	Rheumatol Int.	32(2)	317-321	2011
59	Yoshizaki A, Yanaba K, Ogawa A, Iwata Y, Ogawa F, Takenaka M, Shimizu K, <u>Asano Y</u> , Kadono T, Sato S	The specific free radical scavenger edaravone suppresses fibrosis in tight-skin and bleomycin-induced mouse models of systemic sclerosis.	Arthritis Rheum.	63(10)	3086-3097	2011
60	Yoshizaki A, Yanaba K, Ogawa A, <u>Asano Y</u> , Kadono T, Sato S.	Immunization with DNA topoisomerase I and complete Freund' s adjuvant induces skin and lung fibrosis and autoimmunity via interleukin-6 signaling.	Arthritis Rheum.	63(1)	3575-3585	2011
61	Yanaba K, Yoshizaki A, <u>Asano Y</u> , Kadono T, Sato S	Serum interleukin-9 levels are increased in patients with systemic sclerosis: association with lower frequency and severity of pulmonary fibrosis. J	Rheumatol.	38(10)	2193-2197	2011
62	Taniguchi T, <u>Asano Y</u> , Hatano M, Tamaki Z, Tomita M, Kawashima T, Miyazaki M, Sumida H, Akamata K, Takahashi T, Ichimura Y, Toyama T, Sugita M, Noda S, Yao A, Kinugawa K, Sato S	Effects of bosentan on non-digital ulcers in patients with systemic sclerosis.	Br J Dermatol.		in press	2011
63	Yanaba K, Yoshizaki A, <u>Asano Y</u> , Kadono T, Sato S	Serum interleukin-9 levels are increased in patients with systemic sclerosis: association with lower frequency and severity of pulmonary fibrosis.	J Rheumatol.	38(10)	2193-2197	2011
64	Taniguchi T, <u>Asano Y</u> , Hatano M, Tamaki Z, Tomita M, Kawashima T, Miyazaki M, Sumida H, Akamata K, Takahashi T, Ichimura Y, Toyama T, Sugita M, Noda S, Yao A, Kinugawa K, Sato S	Effects of bosentan on non-digital ulcers in patients with systemic sclerosis.	Br J Dermatol.		in press	2011
65	Takahashi T, <u>Asano Y</u> , Amiya E, Hatano M, Tamaki Z, Ozeki A, Watanabe A, Kawarasaki S, Nakao T, Taniguchi T, Ichimura Y, Toyama T, Watanabe M, Hirata Y, Nagai R, Sato S	Improvement of endothelial function in parallel with the amelioration of dry cough and dyspnea due to interstitial pneumonia by intravenous cyclophosphamide pulse therapy in patients with systemic sclerosis: a preliminary report of 2 cases.	Mod Rheumatol		in press	2011
66	Taniguchi T, <u>Asano Y</u> , Akamata K, Noda S, Masui Y, Yamada D, Takahashi T, Ichimura Y, Toyama T, Tamaki Z, Tada Y, Sugaya M, Kadono T, Sato S	Serum levels of galectin-3: possible association with fibrosis, aberrant angiogenesis, and immune activation in patients with systemic sclerosis.	J Rheumatol.		in press	2011
67	Aozasa N, <u>Asano Y</u> , Akamata K, Noda S, Masui Y, Yamada D, Tamaki Z, Tada Y, Sugaya M, Kadono T, Sato S	Serum apelin levels: clinical association with vascular involvements in patients with systemic sclerosis.	J Eur Acad Dermatol Venereol.		in press	2011
68	Aozasa N, <u>Asano Y</u> , Akamata K, Noda S, Masui Y, Tamaki Z, Tada Y, Sugaya M, Kadono T, Sato S	Clinical significance of serum levels of secretory leukocyte protease inhibitor in patients with systemic sclerosis.	Mod Rheumatol.		in press	2011
69	Yanaba K, <u>Asano Y</u> , Tada Y, Sugaya M, Kadono T, Sato S	Clinical significance of circulating platelet-activating factor acetylhydrolase levels in systemic sclerosis.	Arch Dermatol Res.		in press	2011
70	浅野善英, 佐藤伸一	【膠原病の实地診療 プライマリケアと難治性病態の克服】治療/実地医家のための最新の治療 強皮症に対する治療の実際	Medical Practice	28	1257-1262	2011
71	浅野善英	疾患と検査値の推移 全身性強皮症	検査と技術	39	287-292	2011
72	浅野善英, 佐藤伸一	ワルファリンの抗石灰化作用	日本医事新報	4531	94-95	2011
73	浅野善英	【内科医がおさえておくべき皮膚科の基本】膠原病の皮疹のみかた 強皮症の皮膚病変	診断と治療	99	146-154	2011

No.	発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
74	Toyama T, <u>Asano Y</u> , Takahashi T, Aozasa N, Akamata K, Noda S, Taniguchi T, Ichimura Y, Sumida H, Tamaki Z, Masui Y, Tada Y, Sugaya M, Sato S, Kadono T.	Clinical significance of serum retinol binding protein-4 levels in patients with systemic sclerosis.	J Eur Acad Dermatol Venereol.		in press	
75	Yanaba K, <u>Asano Y</u> , Tada Y, Sugaya M, Kadono T, Sato S.	Clinical significance of serum growth differentiation factor-15 levels in systemic sclerosis: association with disease severity.	Mod Rheumatol		in press	
76	Hasegawa M, <u>Asano Y</u> , Endo H, Fujimoto M, Goto D, Ihn H, Inoue K, Ishikawa O, Kawaguchi Y, Kuwana M, Muro Y, Ogawa F, Sasaki T, Takahashi H, Tanaka S, Takehara K, Sato S.	Investigation of prognostic factors for skin sclerosis and lung function in Japanese patients with early systemic prospective observational study. sclerosis: a multicentre	Rheumatology (Oxford)	51(1)	129-133	2012
77	Hasegawa M, Asano Y, Endo H, Fujimoto M, Goto D, Ihn H, Inoue K, <u>Ishikawa O</u> , Kawaguchi Y, Kuwana M, Muro Y, Ogawa F, Sasaki T, Takahashi H, Tanaka S, Takehara K, Sato S.	Investigation of prognostic factors for skin sclerosis and lung function in Japanese patients with early systemic sclerosis: a multicentre prospective observational study.	Rheumatology (Oxford). 2011 Nov 9. [Epub ahead of print]	51(1)	129-133	2012
78	Tobiishi M, Sayo T, Yoshida H, Kusaka A, Kawabata K, Sugiyama Y, <u>Ishikawa O</u> , Inoue S.	Changes in epidermal hyaluronan metabolism following UVB irradiation.	J Dermatol Sci	64	31-38	2011
79	Higashiyama R, Nakao S, Shibusawa Y, <u>Ishikawa O</u> , Moro T, Mikami K, Fukumitsu H, Ueda Y, Minakawa K, Tabata Y, Bou-Gharios G, Inagaki Y.	Differential contribution of dermal resident and bone marrow-derived cells to collagen production during wound healing and fibrogenesis in mice.	J Invest Dermatol	131(2)	529-536	2011
80	Okada E, Yamanaka M, <u>Ishikawa O</u> .	New insights into the mechanism of abnormal calcification in nephrogenic systemic fibrosis - gadolinium promotes calcium deposition of mesenchymal stem cells and dermal fibroblasts.	J Dermatol Sci	62	58-63	2011
81	Nagai Y, Hasegawa M, Hattori T, Okada E, Tago O, <u>Ishikawa O</u>	Bosentan for digital ulcers in patients with systemic sclerosis.	J Dermatol. 2011 Sep 28. doi.	39	48-51	2012
82	Hattori T, Tamura A, <u>Ishikawa O</u> .	Acute generalized exanthematous pustulosis-like drug eruption induced by pemetrexed.	Eur J Dermatol	21(6)	998-999	2011
83	Amano H, Nagai Y, Kishi C, <u>Ishikawa O</u> .	Acquired reactive perforating collagenosis in dermatomyositis.	J Dermatol.	38(12)	1199-1201	2011
84	Suto M, Nagai Y, Hasegawa M, Handa H, <u>Ishikawa O</u>	Azathioprine-induced pure red cell aplasia in a systemic sclerosis patient with interstitial pneumonia.	J Dermatol.	38(3)	285-287	2011
85	Amano H, Tamura A, Yasuda M, Yamanaka M, Takeuchi Y, Sasaoka K, Yokoo S, <u>Ishikawa O</u> .	Amalgam tattoo of the oral mucosa mimics malignant melanoma.	J Dermatol.	38(1)	101-103	2011
86	Tago O, Nagai Y, Matsushima Y, <u>Ishikawa O</u>	A Case of Acne Fulminans Successfully Treated with Cyclosporin A and Prednisolone.	Acta Derm Venereol.	91(3)	337-338	2011
87	Abe M, Syuto T, Yokoyama Y, <u>Ishikawa O</u> .	Improvement of quality of life and clinical usefulness of cyclosporin administration in patients with nail psoriasis.	J Dermatol.	38(9)	916-918	2011
88	Yasuda M, Abe M, Suto M, Okada E, Nagai Y, Tamura A, <u>Ishikawa O</u> , Takahashi K.	Circumscribed palmar hypokeratosis on both hands: distinct keratin expression in multiple depressed lesions.	Br J Dermatol	164(1)	211-213	2011
89	長谷川道子, 永井弥生, 石川 治	強皮症に伴う胃食道逆流症に対する六君子湯の使用経験	皮膚臨床	53(12)	1767-1770	2011
90	上原顕仁, 長谷川道子, 永井弥生, 田村敦志, 石川 治	全身性強皮症と ANCA 関連血管炎で加療中に汎発性膿疱性乾癬を合併した 1 例.	臨床皮膚	65(7)	501-504	2011
91	Kawashita Y, Jinnin M, Makino T, Kajihara I, Makino K, Honda N, Masuguchi S, Fukushima S, Inoue Y, <u>Ihn H</u> .	Circulating miR-29a levels in patients with scleroderma spectrum disorder.	J Dermatol Sci	61(1)	67-69	2011
92	Asano Y, <u>Ihn H</u> , Jinnin M, Tamaki K.	Altered dynamics of TGF- β receptors in scleroderma fibroblasts.	Ann Rheum Dis	70(2)	384-387	2011
93	Moriya C, Jinnin M, Yamane K, Maruo K, Muchemwa FC, Igata T, Makino T, Fukushima S, <u>Ihn H</u> .	Expression of matrix metalloproteinase-13 is controlled by IL-13 via PI3K/Akt3 and PKC- δ in normal dermal fibroblasts.	J Invest Dermatol	131(1)	655-661	2011

No.	発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
94	Xie Y, Jinnin M, Zhang X, Wakasugi S, Makino T, Inoue Y, Masuguchi S, Sakai K, Jinnin M, <u>Ihn H</u> .	Immunohistochemical characterization of the cellular infiltrate in discoid lupus erythematosus.	BioScience Trends	5(2)	83-88	2011
95	Arakawa H, Jinnin M, Muchemwa FC, Makino T, Kajihara I, Makino K, Honda N, Sakai K, Fukushima S, <u>Ihn H</u> .	Adiponectin expression is decreased in involved skin and sera of diffuse cutaneous scleroderma patients.	Exp Dermatol	20(9)	764-766	2011
96	Kuwata N, Makino T, Inoue Y, <u>Ihn H</u> .	Expression pattern of VEGF-1, -2, -3, and D2-40 protein in the skin of patients with systemic sclerosis.	Eur J Dermatol	21(4)	490-494	2011
97	藤本 学, 浅野善英, 石井貴之, 小川文秀, 川上民裕, 小寺雅也, 安部正敏, 為政大幾, 伊藤孝明, 井上雄二, 今福信一, 入澤亮吉, 大塚正樹, 大塚幹夫, 門野岳史, 川口雅一, 九木野竜一, 幸野 健, 境 恵祐, 高原正和, 谷岡未樹, 中西健史, 中村泰大, 橋本 彰, 長谷川稔, 林 昌浩, 藤原 浩, 前川武雄, 松尾光馬, 間所直樹, 山崎 修, 吉野雄一郎, レバブー・アンドレ, 立花隆夫, 尹 浩信	創傷・熱傷ガイドライン委員会報告-4: 膠原病・血管炎に伴う皮膚潰瘍診療ガイドライン	日皮会誌	121	2187-2223	2011
98	尹 浩信	全身性強皮症 / 限局性強皮症	Monthly Book Derma	176	17-24	2011
99	尹 浩信	好酸球性筋膜炎	アレルギー	60	683-686	2011
100	Hashimoto A, Tejima S, Tono T, Suzuki M, Tanaka S, Matsui T, Tohma S, <u>Endo H</u> , Hirohata S.	Predictors of survival and causes of death in Japanese patients with systemic sclerosis	J Rheumatol.	38(9)	1931 - 1939	2011
101	Hashimoto A, <u>Endo H</u> , Kondo H, Hirohata S	Clinical features of 405 Japanese patients with systemic sclerosis.	Mod Rheumatol		on line	2011
102	遠藤平仁	リツキシマブは Short-lived autoreactive plasmablast を特異標的とする	リウマチ科	45	196 - 202	2011
103	遠藤平仁	ゴリムマブの有効性と安全性	リウマチ科	46	26 - 32	2011
104	遠藤平仁	強皮症の消化管障害一病態に応じた対応指針一、膠原病の実地診療	Medical Practice	28	1217-1221	2011
105	Gono T, <u>Kawaguchi Y</u> , Katsumata Y, Takagi K, Tochimoto A, Baba S, Okamoto Y, Ota Y, Yamanaka H	Clinical manifestations of neurological involvement in primary Sjogren's syndrome	Clin Rheumatol	30(4)	485-490	2011
106	Takagi K, <u>Kawaguchi Y</u> , Kawamoto M, Ota Y, Tochimoto A, Gono T, Katsumata Y, Takagi M, Hara M, Yamanaka H	Activation of the activin A-Alk-Smad pathway in systemic sclerosis	J Autoimmunity	36(3-4)	181-188	2011
107	Tochimoto A, <u>Kawaguchi Y</u> , Hara M, Tateishi M, Fukasawa C, Takagi K, Nishimagi E, Ota Y, Katsumata Y, Gono T, Tanaka E, Yamanaka H	Efficacy and safety of intravenous cyclophosphamide pulse therapy with oral prednisolone in the treatment of interstitial lung disease with systemic sclerosis: four-year follow-up	Mod Rheumatol	21(3)	296-301	2011
108	Sugiura T, <u>Kawaguchi Y</u> , Ikari K, Ichida H, Kawamoto M, Momohara S, Hara M, Yamanaka H	Interleukin-18 promoter polymorphisms in Japanese patients with rheumatoid arthritis: protective effect of the T allele and T/T genotype at rs360722	Mod Rheumatol	21(4)	359-364	2011
109	Gono T, <u>Kawaguchi Y</u> , Kaneko H, Nishimura K, Hanaoka M, Kataoka S, Okamoto Y, Katsumata Y, Yamanaka H	Anti-NR2A antibody as a predictor for neuropsychiatric systemic lupus erythematosus	Rheumatol	50(9)	1578-1585	2011
110	Gono T, Takarada T, Fukumori R, <u>Kawaguchi Y</u> , Kaneko H, Hanaoka M, Katsumata Y, Yoneda Y, Yamanaka H	Anti-NR2A antibody exerts an inhibitory effect on cell viability through augmentation of Ca ²⁺ influx in systemic lupus erythematosus	Arthritis Rheum	63(12)	3952-3959	2011
111	Katsumata Y, Miyake K, <u>Kawaguchi Y</u> , Okamoto Y, Kawamoto M, Gono T, Baba S, Hara M, Yamanaka H	Anti-C1q antibodies are associated with systemic lupus erythematosus global activity, but not specifically with nephritis: a controlled study of 126 consecutive patients	Arthritis Rheum	63(8)	2436-2444	2011
112	Baba S, Katsumata Y, <u>Kawaguchi Y</u> , Gono T, Sugiura T, Kanno T, Hara M, Yamanaka H	Association between low-dose pulsed intravenous cyclophosphamide therapy and amenorrhea in patients with systemic lupus erythematosus: A case-control study	BMC Womens Health	11	28	2011
113	Katsumata Y, <u>Kawaguchi Y</u> , Baba S, Hattori S, Tahara K, Ito K, Iwasaki T, Yamaguchi N, Oyama M, Kozuka-Hata H, Hattori H, Nagata K, Yamanaka H, Hara M	Identification of three new autoantibodies associated with systemic lupus erythematosus using a refined proteomic approach	Mol Cell Proteomic	10(6)	M110.005330	2011

No.	発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
114	Hoshino K, Satoh T, Kawaguchi Y, <u>Kuwana M</u>	Association of Hepatocyte Growth Factor promoter polymorphism with severity of interstitial lung disease in Japanese patients with systemic sclerosis.	Arthritis Rheum	63(8)	2465-2472	2011
115	Furuya Y, <u>Kuwana M</u>	Effect of bosentan on systemic sclerosis-associated interstitial lung disease ineligible for cyclophosphamide therapy: a prospective open-label study.	J Rheumatol	38(10)	2186-2192	
116	Hasegawa M, Asano Y, Endo H, Fujimoto M, Goto D, Ihn H, Inoue K, Ishikawa O, Kawaguchi Y, <u>Kuwana M</u> , Muro Y, Ogawa F, Tanaka S, Takehara K, Sato S	Investigation of prognostic factors for skin sclerosis and lung function in Japanese patients with early systemic sclerosis: a multicenter prospective observational study.	Rheumatology	51(1)	129-133	2012
117	<u>Kuwana M</u> , Okazaki Y	Quantification of circulating endothelial progenitor cells in systemic sclerosis: a direct comparison of protocols.	Ann Rheum Dis		In press	
118	桑名正隆	セミナー；膠原病における難治性病態の診断と対処法；血栓性微小血管障害	Medical Practice	28(7)	1217-1212	2011
119	桑名正隆	話題の疾患と治療；抗 RNA ポリメラーゼ III 抗体と強皮症腎クリアーゼ	感染・炎症・免疫	41(3)	250-253	2011
120	桑名正隆	リウマチ性疾患における心血管障害；膠原病に伴う末梢循環不全とその薬物療法	リウマチ科	46(4)	364-371	2011
121	桑名正隆	肺高血圧症各論（疾患の解説と内科治療）；結合組織病に伴う肺高血圧症	医学のあゆみ	240(1)	77-82	2012
122	桑名正隆	肺高血圧症・肺血栓塞栓症の最新情報；全身性強皮症と肺高血圧症	呼吸器科	21(1)	印刷中	
123	Segawa S, <u>Goto D</u> , Yoshiga Y, Horikoshi M, Sugihara M, Hayashi T, Chino Y, Matsumoto I, Ito S, Sumida T.	Involvement of NK1.1+ γ δ T Cells in the IL-18 Plus IL-2-Induced Interstitial Lung Disease.	Am J Respir Cell Mol Biol	45(3)	659-666	2011
124	高橋裕樹, 山本元久, 篠村恭久.	IgG4 関連疾患 up to date.	リウマチ科	46 (2)	190-196	2011
125	Yamamoto A, Tabeya T, Naishiro Y, Yajima H, Ishigami K, Shimizu Y, Obara M, Suzuki C, Yamashita K, Yamamoto H, Hayashi T, Sasaki S, Sugaya T, Ishida T, Takano KI, Himi T, Suzuki Y, Nishimoto N, Honda S, <u>Takahashi H</u> , Imai K, Shinomura Y	Value of serum IgG4 in the diagnosis of IgG4-related disease and in differentiation from rheumatic disease and other diseases.	Mod Rheumatol	E-pub		2011
126	<u>Hatano M</u> , Yao A, Kinugawa K, Hirata Y, Nagai R.	Acute effect of sildenafil is maintained in pulmonary arterial hypertension patients chronically treated with bosentan.	Int Heart J	52(4)	233-9	2011
127	<u>Hatano M</u> , Kinugawa K, Shiga T, Kato N, Endo M, Hisagi M, Nishimura T, Yao A, Hirata Y, Kyo S, Ono M, Nagai R.	Less frequent opening of the aortic valve and a continuous flow pump are risk factors for postoperative onset of aortic insufficiency in patients with a left ventricular assist device.	Circ J	75(5)	1147-55	2011
128	Maki H, Yao A, Inaba T, Shiga T, <u>Hatano M</u> , Kinugawa K, Yamashita T, Aizawa T, Nagai R	Initial and programmed combination therapy with oral drugs for severe idiopathic pulmonary arterial hypertension.	Int Heart J	52(5)	323-6	2011
129	Kato N, Kinugawa K, Seki S, Shiga T, <u>Hatano M</u> , Yao A, Hirata Y, Kazuma K, Nagai R	Quality of life as an independent predictor for cardiac events and death in patients with heart failure	Circ J	75(7)	1661-9	2011
130	Matsubara TJ, Iwata H, Shiga T, <u>Hatano M</u> , Yao A, Ono M, Kinugawa K, Hirata Y, Nagai R	Progressive coronary artery-pulmonary artery fistula after size-mismatch cardiac transplantation	ASAIO J	57(4)	346-7	2011
131	波多野将, 八尾厚史	特集 臨床医学の展望 2011 4. 肺高血圧症	日本医事新報	No.4534	54-55	2011
132	波多野将	PAH の将来展望	医薬ジャーナル	Vol. 46 No.12	113-116	2010
133	波多野将	各種 PAH に対するペラプロスト徐放剤の認容性および効果	Therapeutic Research	Vo1.31 No.10	60-62	2010
134	Yoshizaki A, Yanaba K, Iwata Y, Komura K, Ogawa A, Muroi E, Ogawa F, Takenaka M, Shimizu K, Hasegawa M, <u>Fujimoto M</u> , Sato S	Elevated serum interleukin-27 levels in patients with systemic sclerosis: association with T cell, B cell and fibroblast activation.	Ann Rheum Dis	70 (1)	194-200	2011

No.	発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
135	Hasegawa M, <u>Fujimoto M</u> , Hamaguchi Y, Matsushita T, Inoue K, Sato S, Takehara K	Use of serum clara cell 16-kDa (CC16) levels as a potential indicator of active pulmonary fibrosis in systemic sclerosis	J Rheumatol	38 (5)	877-884	2011
136	Hasegawa M, <u>Fujimoto M</u> , Matsushita T, Hamaguchi Y, Takehara K, Sato S	Serum chemokine and cytokine levels as indicators of disease activity in patients with systemic sclerosis	Clin Rheumatol	30 (2)	231-237	2011
137	Hasegawa M, Asano Y, Endo H, <u>Fujimoto M</u> , Goto D, Ihn H, Inoue K, Ishikawa O, Kawaguchi Y, Kuwana M, Muro Y, Ogawa F, Sasaki T, Takahashi H, Tanaka S, Takehara K, Sato S	Investigation of prognostic factors for skin sclerosis and lung function in Japanese patients with early systemic sclerosis: a multicentre prospective observational study	Rheumatology	51(1)	129-133	2012
138	<u>Yamamoto T</u> , Katayama I	Vascular changes in bleomycin-induced scleroderma	Int J Rheumatol		270938	2011
139	Yamamoto T	Autoimmune mechanisms of scleroderma and a role of oxidative stress	Self/Nonself	2(1)	4-11	2011
140	Kajii, Suzuki C, Kashihara J, Kobayashi E, Kubo Y, Miyamoto H, Yuuki T, <u>Yamamoto T</u> , Nakae T	Prevention of excessive collagen accumulation by human intravenous immunoglobulin treatment in a murine model of bleomycin-induced scleroderma.	Clin Exp Immunol	163(2)	235-241	2011
141	Yoshizaki A, Yanaba K, Iwata Y, Komura K, Ogawa A, Muroi E, <u>Ogawa F</u> , Takenaka M, Shimizu K, Hasegawa M, Fujimoto M, Sato S	Elevated serum interleukin-27 levels in patients with systemic sclerosis: association with T cell, B cell and fibroblast activation	Ann Rheum Dis	70(1)	194-200	2011
142	Yanaba K, Yoshizaki A, Muroi E, <u>Ogawa F</u> , Asano Y, Kadono T, Sato S	Serum CCL23 levels are increased in patients with systemic sclerosis	Arch Dermatol Res	303(1)	29-34	2011
143	Yoshizaki A, Yanaba K, Ogawa A, Iwata Y, <u>Ogawa F</u> , Takenaka M, Shimizu K, Asano Y, Kadono T, Sato S	The specific free radical scavenger edaravone suppresses fibrosis in the bleomycin-induced and tight skin mouse models of systemic sclerosis	Arthritis Rheum	63(10)	3086-3097	2011
144	<u>Ogawa F</u> , Shimizu K, Muroi E, Hara T, Sato S	Increasing levels of serum antioxidant status, total antioxidant power, in systemic sclerosis	Clin Rheumatol	30(7)	920-925	2011
145	Yamaoka T, Fujimoto M, <u>Ogawa F</u> , Yoshizaki A, Bae SJ, Muroi E, Komura K, Iwata Y, Akiyama Y, Yanaba K, Shimizu K, Sato S	The roles of P- and E-selectins and P-selectin glycoprotein ligand-1 in primary and metastatic mouse melanomas	J Dermatol Sci	64(2)	99-107	2011
146	Muroi E, Hara T, Yanaba K, <u>Ogawa F</u> , Yoshizaki A, Takenaka m, Shimizu K, Sato S	A portable dermatoscope for easy, rapid examination of periungual nailfold capillary changes in patients with systemic sclerosis	Rheumatol Int		2010 May 27 [Epub ahead of print]	2011
147	小川文秀	【内科医がおさえておくべき皮膚科の基本】内科医がまずおさえておくべき重要な皮膚疾患 皮膚そう痒症、皮脂欠乏性湿疹の診断と治療	診断と治療	99 (増刊号)	12-18	2011
148	富田 元, 小川文秀, 鉾塚 大, 原肇秀, 宇谷厚志	全身性強皮症に伴うレイノー症状に対するシロスタゾール食前投与の有効性	新薬と臨床	60(10)	2063-2067	2011
149	吉崎麻子, 吉崎 歩, 室井栄治, 小川文秀, 佐藤伸一	抗 RNA ポリメラーゼ抗体陽性全身性強皮症に伴った指端壊疽の1例	西日本皮膚科	73(3)	221-224	2011
150	富田 元, 原 肇秀, 岩田洋平, 岩田貴子, 小川文秀, 佐藤伸一	外陰部硬化性萎縮性苔癬を発生母地とした有棘細胞癌の1例	皮膚科の臨床	53(3)	509-511	2011
151	田中住明, 星健太, 廣畑俊成.	【関節リウマチを疑ったら 診断・治療の Update と鑑別すべき膠原病】 関節リウマチと鑑別が必要な疾患とその特徴【若年～中年で多い疾患】 Behcet (ベーチェット) 病.	Medicina	48	214-7	2011
152	田中住明, 星健太.	【肺循環・肺高血圧を識る 診断・治療の現在】 治す 新規治療薬の Potential soluble guanylate cyclase 刺激薬.	Heart View	15	95-8	2011
153	田中住明, 小川英佑.	【内科診療における論点】 膠原病・リウマチ 混合性結合組織病に合併する肺高血圧症にステロイド治療は有効か?	内科	107	1434-9	2011
154	Hashimoto A, Tejima S, Tono T, Suzuki M, <u>Tanaka S</u> , Matsui T, Tohma S, Endo H, Hirohata S.	Predictors of Survival and Causes of Death in Japanese Patients with Systemic Sclerosis.	J Rheumatol	38(9)	1931-9	2011

No.	発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
155	Kelley JM, Monach PA, Ji C, Zhou Y, Wu J, <u>Tanaka S</u> , Mahr AD, Johnson S, McAlear C, Cuthbertson D, Carette S, Davis JC, Jr., Dellaripa PF, Hoffman GS, Khalidi N, Langford CA, Seo P, St Clair EW, Specks U, Stone JH, Spiera RF, Ytterberg SR, Merkel PA, Edberg JC, Kimberly RP.	IgA and IgG antineutrophil cytoplasmic antibody engagement of Fc receptor genetic variants influences granulomatosis with polyangiitis.	Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	108(51)	20736-41	2011
156	Furuya T, Koga M, Hikami K, Kawasaki A, <u>Tsuchiya N</u> .	Effects of APRIL (TNFSF13) polymorphisms and splicing isoforms on the secretion of soluble APRIL.	Mod Rheumatol		doi: 10.1007/s10165-011-0539-z	2011
157	Koga M, Kawasaki A, Ito I, Furuya T, Ohashi J, Kyogoku C, Ito S, Hayashi T, Matsumoto I, Kusaoi M, Takasaki Y, Hashimoto H, Sumida T, <u>Tsuchiya N</u> .	Cumulative association of eight susceptibility genes with systemic lupus erythematosus in a Japanese female population.	J Hum Genet	56(7)	503-507	2011
158	Kawasaki A, Furukawa H, Kondo Y, Ito S, Hayashi T, Kusaoi M, Matsumoto I, Tohma S, Takasaki Y, Hashimoto H, Sumida T, <u>Tsuchiya N</u> .	TLR7 single-nucleotide polymorphisms in the 3' untranslated region and intron 2 independently contribute to systemic lupus erythematosus in Japanese women: a case-control association study.	Arthritis Res Ther	13(2)	R41	2011
159	Hikami K, Kawasaki A, Ito I, Koga M, Ito S, Hayashi T, Matsumoto I, Tsutsumi A, Kusaoi M, Takasaki Y, Hashimoto H, Arinami T, Sumida T, <u>Tsuchiya N</u> .	Association of a functional polymorphism in the 3' untranslated region of SPI1 with systemic lupus erythematosus.	Arthritis Rheum	63(3)	755-763	2011
160	土屋尚之	ANCA 関連血管炎の遺伝因子	リウマチ科	46(4)	421-426	2011
161	土屋尚之	関節リウマチにおける疾患抵抗性 HLA-DRB1 アリル	リウマチ科	45(1)	62-67	2011
162	Yoshizaki A, Yanaba K, Iwata Y, Komura K, Ogawa A, Muroi E, Ogawa F, Takenaka M, Shimizu K, <u>Hasegawa M</u> , Fujimoto M, Sato S	Elevated serum interleukin-27 levels in patients with systemic sclerosis: association with T cell, B cell and fibroblast activation.	Ann Rheum Dis	70(1)	194-200	2011
163	Hasegawa M	Dermoscopy findings of nail fold capillaries in connective tissue diseases	J Dermatol	38	66-70	2011
164	<u>Hasegawa M</u> , Fujimoto M, Hamaguchi Y, Matsushita T, Inoue K, Sato S, Takehara K	Use of serum clara cell 16-kDa (CC16) levels as a potential indicator of active pulmonary fibrosis in systemic sclerosis	J Rheumatol	38(5)	877-884	2011
165	Nakajima K, <u>Hasegawa M</u> , Inaki A, Wakabayashi H, Hosoya T, Takehara K, Kinuya S	Esophageal transit study using a sliding sum image: application to patients with probable and definite systemic sclerosis	Ann Nucl Med	25(5)	325-331	2011
166	<u>Hasegawa M</u> , Fujimoto M, Matsushita T, Hamaguchi Y, Takehara K, Sato S	Serum chemokine and cytokine levels as indicators of disease activity in patients with systemic sclerosis	Clin Rheumatol	30(2)	231-237	2011
167	Mugii N, Someya F, <u>Hasegawa M</u>	Reduced hypoxia risk in a systemic sclerosis patient with interstitial lung disease after long-term pulmonary rehabilitation	Clin Med Insights. Case Rep	4	53-64	2011
168	<u>Hasegawa M</u> , Asano Y, Endo H, Fujimoto M, Goto D, Ihn H, Inoue K, Ishikawa O, Kawaguchi Y, Kuwana M, Muro Y, Ogawa F, Sasaki T, Takahashi H, Tanaka S, Takehara K, Sato S	Investigation of prognostic factors for skin sclerosis and lung function in Japanese patients with early systemic sclerosis: a multicentre prospective observational study	Rheumatology	51(1)	129-133	2012
169	前田進太郎, 濱口儒人, 長谷川稔, 藤本 学, 竹原和彦, 濱野良子, 川野充弘	腎クラーゼを発症した抗 RNA ポリメラーゼ抗体陽性全身性強皮症の 1 例	皮膚臨床	53(12)	1741-1743	2011
170	<u>Mugii N</u> , Someya F, Hasegawa M	Reduced Hypoxia Risk in a Systemic Sclerosis Patient with Interstitial Lung Disease after Long-Term Pulmonary Rehabilitation.	Clinical Medicine Insights: Case Reports.	4	53-56	2011
171	<u>Mugii N</u> , Hasegawa M, Matsushita T, Hamaguchi Y, Horie S, Yahata T, Inoue K, Someya F, Fujimoto M, Takehara K	Association between nail-fold capillary findings and disease activity in dermatomyositis	Rheumatology	50(6)	1091-1098	2011